

百人が設立祝う

ぬくもりほっとらいんつどい盛況

4月26日に千葉市幕張勤労市民プラザにて、NPO法人ぬくもりほっとらいん設立記念のつどいが開かれた。2004年10月1日に「傾聴電話」として電話相談活動を始めてから3年半がたった今年3月17日にNPOとして誕生し、電話活動以外の活動も視野にいれていこうとしている。

当日は10時から理事長挨拶、経過説明、来賓の挨拶等、式典に続いて、千葉大学(社会教育学)教授の講演があった。演題は「つながり」とともに「ひろがる」一泊

ランディア活動と社会的使命であった。(詳細は次ページ)

参加人数は100名余、メンバーによる手作りのお菓子や会場をかざる生け花等温かい雰囲気があふれていた。午後は軽食(おにぎり)をばさんで、メンバー4人による寸劇で第2部が始まった。「ぬくもり横丁」のゴミ収集場所での主婦の立ち話を喜劇仕立てにしたものだが、笑わせられているうちに「傾聴」の意味がしっかりと分かってくるという素晴らしいものであった。

続いて会場の参加者が次々にマイクを持って「ぬくもりほっとらいん」への想いや、今感じていること等が語られた。途中で2人のメンバーがピアノの連弾をした。生演奏の迫力もさることながら、それに先立って語られた二人の言葉「封印していたピアノを又弾いてみようと思えた」「最近病気をし手術をしたが今日の目を目標に頑張った」という言葉が感動を深くした。

2時半には予定通り全てのプログラムが終了し、一本締めで会を閉じた。開会前と昼休みに日頃のメンバーの活動の様子を上映したスライドショーも会場の雰囲気作りの一役を担った。

参加者の感想(その一)

・つながりを創っていくのが生協と違ってあります。その事を進めていこうとするNPOぬくもりほっとらいんを強く応援し一緒にぬくもりのあるほつとな関係を創っていきけたらと強く感じます。

(H.Iさん)

・懐かしい人達とお会いできてとても嬉しく思いました。特別力を持たない私はいつも人任せで何かを創り上げることの喜び

を知る機会がなかったけれど、このグループには何も出来ない私でも仲間の一人と思える雰囲気がありここに居て良かったと心から思えました。

(K.Nさん)

ここに居て良かった

何も出来ない私でも仲間の一人

「努力しなくちゃ」という思いがわいてきました。今日は楽しかったです。ありがとうございました。

(K.Mさん)

・手作りのお菓子、机の花、劇、ピアノ演奏、人の暖かさを感じました。私は母に連れて来てもらったので、講座を受けた事すらありませんが、皆さんがとてこの場を大切にしているんだなと思いました。私はまだ20歳ですが、講座に参加したいと思いました。

(S.Nさん)

・先生を中心にたくさんの方が繋がっているんですね。私もその一人です。うれしく、誇らしい気持ちです。皆さんのマイクまわしを聞くうちに「傾聴の為



幕張勤労市民プラザにて設立のつどい開催＝堀谷雅美撮影